国立大学法人 大阪教育大学
大阪教育大学 附属特別支援学校
小学部教諭　松本　将孝
高等部教諭　本多　克敏
情報基盤センター　尾崎　拓郎　（理数情報教育系）

附属特別支援学校における研究実践報告会実施に向けたオンライン環境整備の取組

Keyword：オンライン環境整備、ビデオ会議システム、大学との協働

背景と研究目的

コロナ禍による従来の対面による研究発表会の実施が難しいため、オンラインを活用した研究発表会を実施することになった。初の試みであるため、準備を進める中で専門的な知識を要する通信環境整備に多くの課題が明らかになった。そこで高度な専門性やオンラインでの学会開催等のノウハウを持つ情報基盤センター所属の大学教員と連携することで、円滑な運用の準備とオンライン開催のノウハウの蓄積を図った。

附属特別支援学校の取り組み

①課題の整理

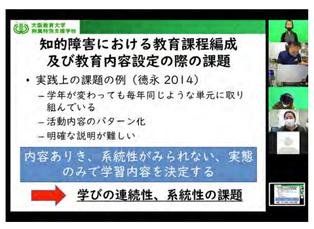
- 教員のビデオ会議システムに対する理解不足
- 報告会当日までの準備の流れ
- 校内の通信環境の把握
- 機材不足

③問題点の解決と研修の企画

- 校内での研究に関する報告をオンラインで実施
- カメラやマイク等機材の整備
- 研修会の日程や内容調整

⑤研究実践報告会準備

- 機材の一覧表や会場配置図を作成。
- リハーサルを重ね、細かな点を修正。



情報基盤センターの助言

②課題の共有・助言

- オンライン開催の学会運営等の先行事例紹介
- 学内ネットワークについての説明
- 必要な機材の説明

④全校対象の研修

- 校内の通信環境の確認
- 全教員参加のオンライン会議での実施
- 実施に向けた情報提供

⑥令和3年2月13日（土）研究実践報告会の実施

- 大学教員にオンライン会議の運用面で参加していただく。

成果と今後の展望

- 両者が連携を図り協働体制をとることで、校内の通信環境について専門的な立場から把握でき、実践研究報告会までに課題の解消を進めやすくなった。
- 大学教員による研修の実施を通して、全校的にオンライン開催に対する理解が深まり、校内研修や授業等での活用が増えた。
- withコロナの情勢を踏まえ、今後の研修会等実施における多様な実施方式のノウハウの蓄積を進める。